

第1回東海オーラルマネジメント研究会を2016年5月22日（日）14:00～16:30の日程で、ウインク愛知にて開催しました。本研究会は東海地域におけるオーラルマネジメントの裾野を広げ、高い技術や知識を持った人材を育成することを目的に、本年度発足しました。今回はその第1回大会として、代表世話人である松尾 浩一郎 先生（藤田保健衛生大学医学部歯科 教授）の開会挨拶の後、渋谷 恭之 先生（名古屋市立大学口腔外科分野 教授）の司会進行のもと、栗田 浩 先生（信州大学医学部歯科口腔外科 教授）に「長野県全体を巻き込んだ口腔管理の普及に向けた取り組み」とのタイトルで御講演いただきました。企業展示を挟んだ後、服部 正巳 先生（愛知学院大学歯学部附属病院 病院長）に司会進行が変わり、三鬼 達人 先生（藤田保健衛生大学病院看護部脳神経外科 看護長）に「口腔ケアと摂食嚥下のチームアプローチ上手な多職種連携の取り方」とのタイトルで御講演いただきました。最後に、世話人である大野 友久 先生（国立長寿医療センター歯科口腔先進医療開発センター）より閉会挨拶がありました。

研究会は参加者 355 名（事前申し込み 296 名、世話人 22 名、当日申し込み 9 名、スタッフ 28 名）、協賛企業 9 社のご協力によって盛況のうちに終会となりました。

